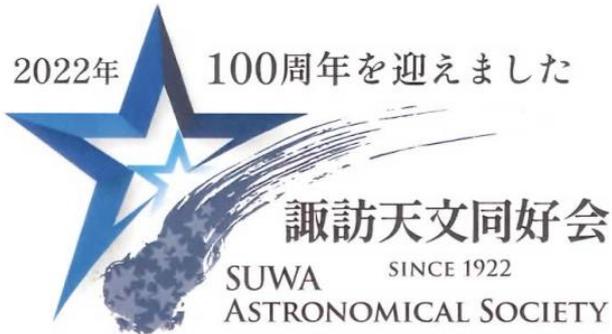
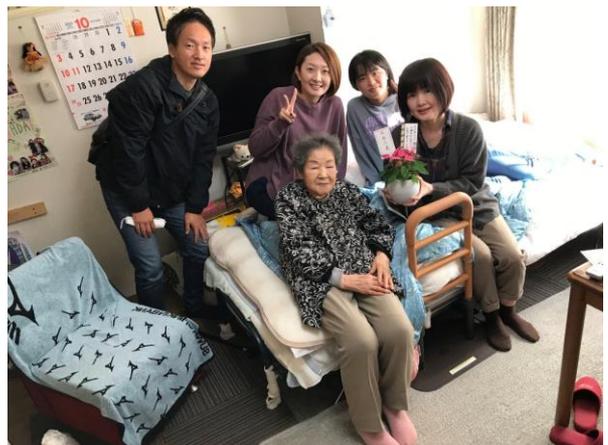


# 諏訪天文同好会の発足経緯と活動



大正7年(1918年)生まれ  
現在 103歳11か月



# 「長野県は宇宙県」と諏訪天文同好会

## 長野県は、どうして「宇宙県」なのか？

### 長野県に古くから天文文化があった

- 多くの天文施設
  - 国立天文台・野辺山宇宙電波観測所
  - 東京大学木曾観測所
  - JAXA臼田宇宙空間観測所
  - 電通大菅平宇宙電波観測所 etc.
- 美しい星空
- 多くのプラネタリウム
- 油井宇宙飛行士の出身地



1921年:天文同好会諏訪支部  
三沢勝衛(諏訪中学校)  
1922年:諏訪天文同好会設立

子供たちを集めて、市民の天文同好会として誕生したのである。

関西派(花山天文台, 山本一清)と  
関東派(東京天文台, 神田茂)との交流を  
深め、日本における近代天文学の黎明期  
から発展期に至るまで強い相互作用を及  
ぼしてきた。

### 山本一清と天文同好会

- 各地の支部
- 北海道支部 1924年10月
- 東京支部 1925年 五藤
- 横浜支部 1925年10月
- 諏訪支部 1921年 三沢勝衛
- 京都支部 1920-1921
- 大阪支部 1920年12月
- 岡山支部 1920年11月
- .....



### 諏訪天文同好会

### 1922年

河西慶彦  
五味一明、小松竹晴、浜喜代治、小椋恒夫、古畑正秋、牛山悦男、今井正明、

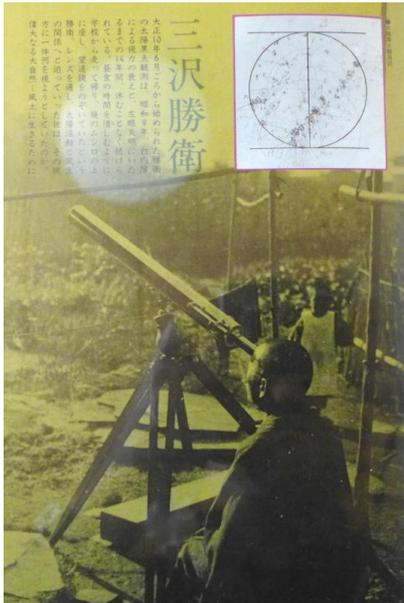
1936年6月18日20時40分 とかげ座新星 五味一明(黒岩五郎、古畑正秋)  
人工衛星(青木正博)、オーロラ(今井)、変光星(小城正巳)、太陽(藤森賢一)、  
宇宙塵(樋口八重子)、光電観測(関野衛)、茅野勝彦、百瀬雅彦

近隣) 金森丁寿 1942年のとも座新星の独立発見 変光星数万目測  
遠藤寿一、金森、笠原、丸山、宮島、田中、小岩井、今井金彦、矢島敏晴、中沢登

## 自然探求の情熱 三澤勝衛先生

(1885-1955)

1920年諏訪中学に赴任



風土は大自然である。  
この風土に正しく生きる人が  
真にその風土を活かしえる。  
風土産業の開発に貢献

自分で考えろ

フィールドスタ  
ディーを重視

頭にノートしろ



先生の地理授業



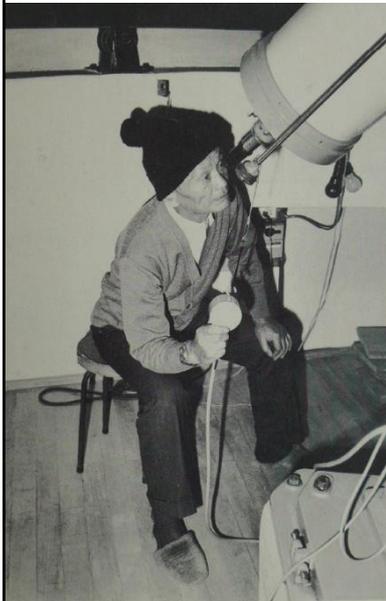
1958年に教授、1968年に台長を歴任し、[野辺山宇宙電波観測所](#)や木曾観測所設置に尽力した。[夜天光](#)研究の権威として知られており、アマチュア[天文家](#)による[変光星](#)観測の指導も行った<sup>[1]</sup>。1973年退官。

**古畑 正秋**  
(ふるはた まさあき)

生誕 1912年9月18日  
● 日本 長野県諏訪郡落合村  
(現・富士見町)

死没 1988年11月23日 (76歳没)

研究分野 天文学  
研究機関 東京大学  
出身校 東京大学  
主な業績 [夜天光](#)の研究  
[変光星](#)の発見



第5望遠鏡でハレー彗星を見る  
1986年 1月10日

**オリオン天文同好会発足記念**





野尻抱影先生90歳お誕生祝いの会1975.11.30

## 信州大学 「ぎんれい」プロジェクト

31 信州 2014年(平成26年) 11

信州ワイド

役割終える「ぎんれい」の光見よう

22日有志が観測会

「ぎんれい」を撮る撮影機を前に  
懇話交換する観望地方の有志ら

7月、信州大学で「ぎんれい」プロジェクトの役割を終え、観望地方の有志らと懇話交換した。観望地方の有志らは、信州大学で撮影機を前に、懇話交換した。観望地方の有志らは、信州大学で撮影機を前に、懇話交換した。

7月、信州大学で「ぎんれい」プロジェクトの役割を終え、観望地方の有志らと懇話交換した。観望地方の有志らは、信州大学で撮影機を前に、懇話交換した。

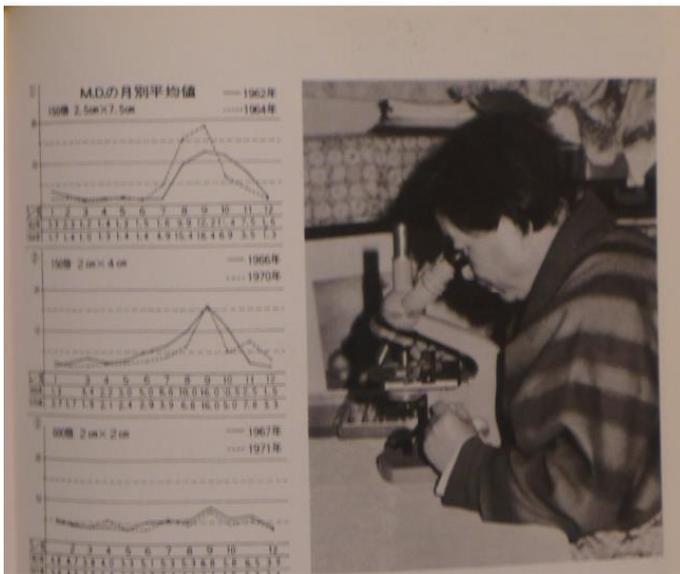
7月、信州大学で「ぎんれい」プロジェクトの役割を終え、観望地方の有志らと懇話交換した。観望地方の有志らは、信州大学で撮影機を前に、懇話交換した。



# 関 瞬衛 1960－変光星光電観測



# 樋口八重子 1960－流星塵観測



諏訪天文同好会会員  
 小泉 峰夫氏 撮影

# 青木正博

- 1950年10月 仙台天文同好会設立(吉田正太郎等と)
- 1952-1953年 変光星観測
- 1953年 掩蔽観測 20cm反射望遠鏡(木辺鏡)
- 1958年 諏訪天文同好会が信濃毎日新聞文化賞受賞



# 青木正博(1920-1984)

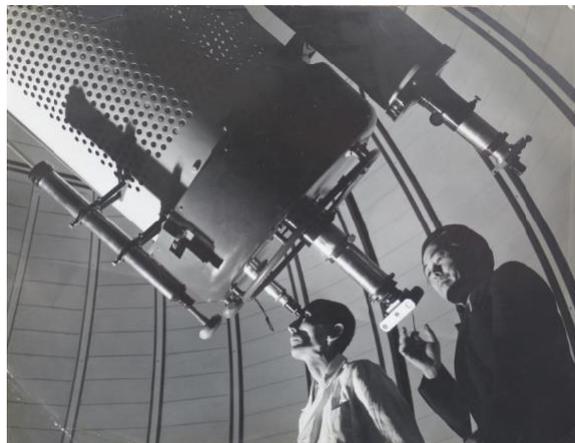
- 1950年10月 仙台天文同好会設立(吉田正太郎等と)
- 1952-1953年 変光星観測
- 1953年 掩蔽観測 20cm反射望遠鏡(木辺鏡)
- 1958年 諏訪天文同好会が信濃毎日新聞文化賞受賞
- 1960-63年 人工衛星観測
- 日本星空を守る会 設立
- 自然保護活動 霧の子孫たち



野に聞け、自然の物語を

# 諏訪の自然と文化を守る会





## 日本アマチュア天文研究発表会



第8回大会記念写真 諏訪市民センター前庭。(1975.10.19)

諏訪天文同好会 2021

会長 茅野勝彦

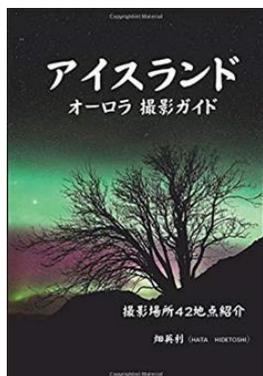
事務局 小平昭彦

会員 藤森賢一 小城正巳

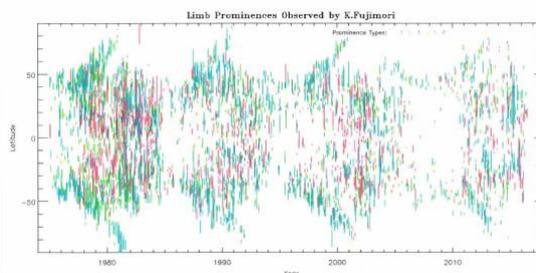
宮下暁彦 百瀬雅彦

畑 英利 小泉峰夫

中島英之



藤森賢一 2017. 3. 17 天文功労賞受賞



## 藤森賢一 天文功労賞 祝賀会



テイクルー  
宮下 暁彦

- ・長野県出身、趣味は写真、スポーツ
- ・以前は、東京にある国立天文台三鷹キャンパスに勤務。太陽系などの研究を進めながら、1980年代からすばる望遠鏡建設プロジェクトに参加、望遠鏡設置候補地の気象調査を担当。その後は、ハワイにてプロジェクトを支え、ドーム形状の決定やシーイング（星の見え方）の向上などに努めている。

— すばる望遠鏡では、どのような仕事をしているのですか？

テイクルーとしては、**観測装置**交換、副鏡(\*)交換、望遠鏡の観測前点検などが主な仕事ですね。その他のテーマとして、すばるがより鮮明な星の像を得られるような観測環境の検討に取り組んでいます。

— 現在の仕事を志したきっかけを教えてください。

もともと天文や星は好きでしたので、高校生までアマチュア天文家だったんですよ。すばるで働いているというのは、ある意味、人生のめぐり合わせ見たいなものです。

— 仕事のない日は、どのように過ごしていますか？

毎週、ゴルフを楽しんでいます。ハワイ島にあるほとんどの場所は、観光してしまいましたので。

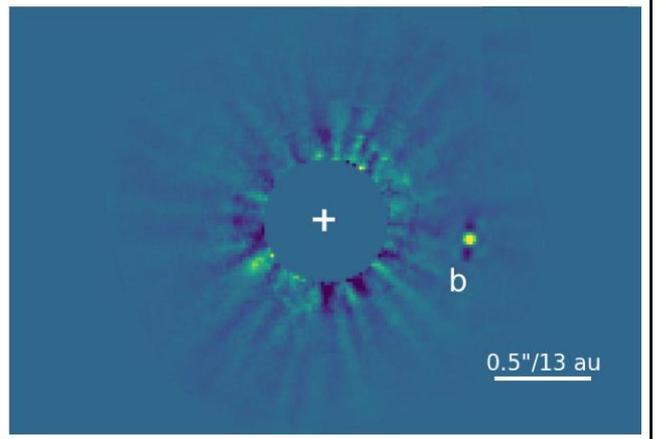
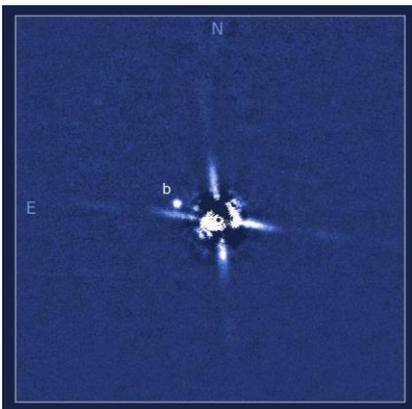
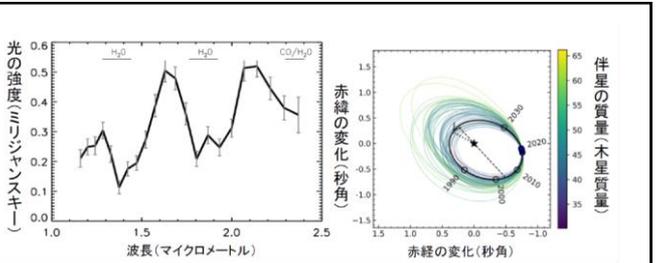
— ホームページをご覧のみなさんへ一言お願いします。

人生一生懸命やっているうちに色々興味ある仕事やチャンスに出会えるはずですよ。すばるや天文学に限らなくても、同じことが言えると思いますよ。





ハワイ大学、アストロバイオロジーセンターの研究者を中心とした研究チームは、すばる望遠鏡等を用いた直接撮像観測により、若いM型矮星に付随する、年齢200～500万年ほどの惑星「2M0437b」を発見しました。2M0437bはこれまで見つかった太陽系外惑星の中で最も若い惑星で、年齢が約46億年の地球と比べると、生まれたての赤ちゃんのような惑星です。観測から2M0437bの質量は木星の3～5倍と見積もられ、このような「スーパージュピター」が太陽よりも小さな小質量星のまわりでどのように形成されるのかを解明する上で貴重な研究対象となっています。





畑さんが撮影した  
開田高原でのオーロラ

## 私と諏訪天文同好会との接点

- 1963年 諏訪清陵高等学校に入学 青木先生との出会い
- 1963年北海道知床・網走皆既日食に参加
- 1974年1月10日 コホーテク彗星 青木天文台
- 1976年 ウエスト彗星 青木天文台
- 1976年10月23日 オーストラリア日食 茅野
- 1983年5月9日 アイラス・荒木・オルコック彗星 青木天文台
- 1983年6月11日 インドネシア日食 茅野
- 1995-1998年 冷却CCDカメラの開発・販売
- 2011-2013 JICAシニアボランティア(ザンビア赴任)
- 2014年 信州大学小型衛星「ぎんれい」観測
- 2021年 宇宙ゴミ除去装置開発
- 2021年 空飛ぶ車開発・実験

## 1963年北海道知床・網走皆既日食に参加



美幌峠 マイクロ山からの撮影  
Nikon F 200mm 望遠



知床岬の観測準備風景



知床岬の番屋(宿所)

## 青木天文台開所式 1971.11.23



八ヶ岳山麓諏訪天体観測所 青木天文台開設記念 1971.11.23

### 出席者

古畑正明 東京天文台長  
 村山定男 国立博物館館長  
 小山ひさ子 黒点観測  
 木辺宣慈 京都大(研磨)  
 藤森栄一 考古学者  
 佐伯恒夫 天文学者  
 下保 繁 三鷹光機(変光星)  
 西村繁次郎 西村製作所  
 今井正明 上諏訪教育長  
 五味一明 諏訪天文同好会  
 関瞬衛 諏訪天文同好会  
 樋口八重子 宇宙塵観測  
 藤森賢一 太陽観測  
 小城正巳 変光星観測  
 宮下明彦 すばる天文台  
 茅野勝彦 彗星観測  
 市川一雄 記者



1974年 コホーテク彗星  
1月10日撮影

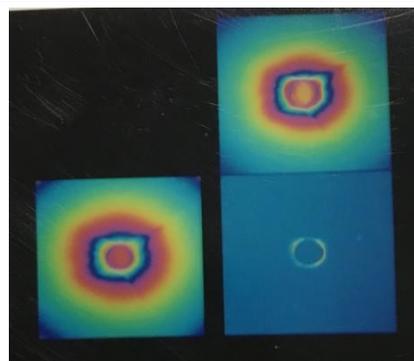


1976 10 23  
オーストラリア日食  
Australia Bonbara

- 塩田和生
- 中島厚
- 石橋彰
- 金田興一
- 白井正明



## 1983年6月11日 インドネシア日食

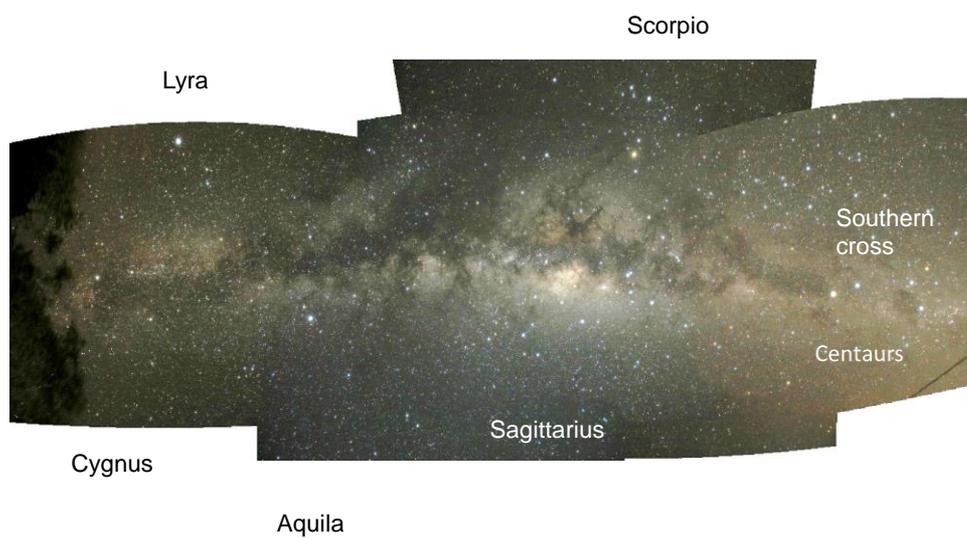


### 参加者

石橋 彰、石橋 力 北村 俊昭  
白井 正明、木村 英三郎  
遠野 和夫、三東 洋一郎



## JICAシニアボランティア(ザンビア2011-2013)



天文教室では日本から見える星空と ZAMBIA で見える星空の違いや日食、月食、地球の自転公転や距離などについて話しました。とくに ZAMBIA で撮影した星の写真を紹介して、南十字星、マゼラン星雲、天の川の美しさなど説明しました。人工の明かりが全くない寒村の夜空に広がる星の煌きは何より代え難い素晴らしいもので、人の心を豊かにさせる貴重なものなのだと伝えられたらと頑張りました。







諏訪天文同好会100周年記念

## 星空に夢をプロジェクト

かつて星空に憧れ、望遠鏡をのぞいていた方  
次世代の子どもたちに、その夢を  
つなげていきませんか？

**使わなくなった天体望遠鏡をおずりください。**

望遠鏡のプロフェッショナル諏訪天文同好会のメンバーが、  
多少の故障は整備し、部品を足したりして、使えるようにします。

**希望する子どもたちにプレゼント★**

使い方実習や定期的な星空講座を行います。望遠鏡をずっと  
大事に使い、楽しく観察を続けてもらえるようサポートします。

●天体望遠鏡をゆずりたい方  
持ち込みは、随時受け付けます。  
受付場所 茅野市八ヶ岳総合博物館  
または コスモス(諏訪市小和田)  
※持って来られない方は、引き取りに行きますので、ご連絡ください。

●天体望遠鏡をほしい方  
応募できるのは小学4年生から高校生までの方です。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。右のQRコードを読み取ると、申込フォームから応募できます。【応募〆切】2022年6月8日



【お問合せ】  
茅野市八ヶ岳総合博物館  
0266-73-0300(担当:渡辺)  
諏訪天文同好会  
090-2542-6850(担当:小平)

### 諏訪天文同好会100周年記念 星空に夢をプロジェクト

諏訪天文同好会・茅野市八ヶ岳総合博物館

天体望遠鏡を使った星空観察を楽しむために必要な技能と知識を身につける集中講座(全4回)を行います。その後も毎月1回程度の学習会を計画しています。すべてに参加できない場合も、補習や個別の相談にのります。チャレンジしたい!と思った人は、あきらめず申し込んでください!

■集中講座(全4回)スケジュール

【第1回】7月23日(土)15:00~16:30  
望遠鏡の組み立て方、動かし方を練習します。また、夏休みに観察しやすい星・星座や天体を覚えて、観察計画をたてましょう。

【第2回】8月6日(土)15:00~16:30  
昼間の空に出ている月を観察してみよう。毎日形が変化するので、見どころもたくさんあります。何度見てもあきることのない月の世界をとことん紹介します。

【第3回】8月20日(土)15:00~16:30  
観察しやすい時期を迎えている土星と木星についてくわしく知り、観察のポイントをつかみましょう。

【第4回】9月3日(土)15:00~16:30  
肉眼では見えない星雲、星団、銀河が望遠鏡では見られます。写真で見ると望遠鏡で見るとは大違い!望遠鏡操作のレベルアップを図ります。

このあとも、楽しい天文現象がめじるおしの2022年!

- 11月8日に起こる満月を見よう!望遠鏡を使えばとつてもめずらしい天王星も観察できるよ。
- 2年2か月が月の火星接近は、12月1日。その前と後で火星の見え方はどのように変化するのか、注目しよう。

星が好き、宇宙に興味がある、望遠鏡をいいたい!おなじ気持ちで集まったなかまどうして情報交換しながら、もっと星空を楽しもう!!

諏訪天文同好会  
星空に夢をプロジェクト(担当:小平)  
〒392-0024 長野県諏訪市小和田25-4  
電話 090-2542-6850

茅野市八ヶ岳総合博物館  
〒391-0213 長野県茅野市豊平6983  
電話 0266-73-0300 FAX 0266-72-6119  
Email y.hakubutsukan@city.chino.lg.jp  
URL <https://www.city.chino.lg.jp/site/y-haku-ls.htm/>





諏訪天文同好会100周年記念

## 星空への情熱 次の100年へ

### 「壊れるくらいに見てほしい」

「壊れるくらいに見てほしい」

望遠鏡は場所や気候から40台以上集まり、使える状態にしてもらった。講座には諏訪地域のほか、厚田、島野、などの小学4年生から高校1年生の愛好者の40人が参加。同好会では、古いカメラを修理して活用している。

諏訪市八ヶ岳総合博物館(諏訪市)1階の展示スペースに、12月1日より「星空に夢をプロジェクト」の展示が始まる。展示は、望遠鏡の修理や、古いカメラの修理など、天文愛好者の活動を紹介する。展示期間は12月1日から12月31日まで。展示時間は、午前10時から午後5時。入場料は無料。お問い合わせは、諏訪市八ヶ岳総合博物館(電話:0266-73-0300)まで。

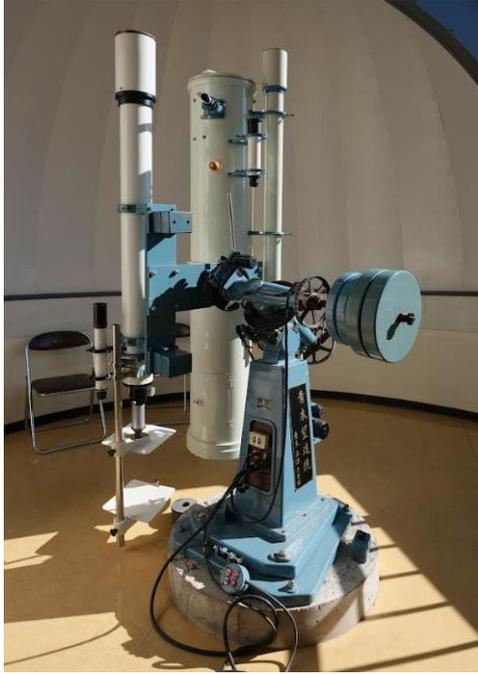
諏訪天文同好会子どもたちに修理した望遠鏡贈る

「壊れるくらいに見てほしい」

望遠鏡は場所や気候から40台以上集まり、使える状態にしてもらった。講座には諏訪地域のほか、厚田、島野、などの小学4年生から高校1年生の愛好者の40人が参加。同好会では、古いカメラを修理して活用している。

諏訪市八ヶ岳総合博物館(諏訪市)1階の展示スペースに、12月1日より「星空に夢をプロジェクト」の展示が始まる。展示は、望遠鏡の修理や、古いカメラの修理など、天文愛好者の活動を紹介する。展示期間は12月1日から12月31日まで。展示時間は、午前10時から午後5時。入場料は無料。お問い合わせは、諏訪市八ヶ岳総合博物館(電話:0266-73-0300)まで。

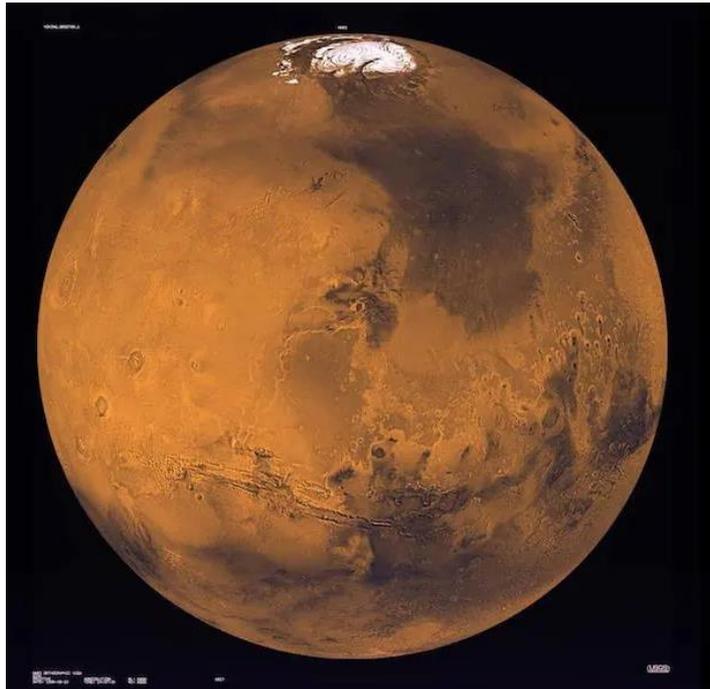
諏訪清陵高校天文台の赤道儀交換



1950年 佐伯 恒夫氏 スケッチ



1976年 バイキング1号が  
撮影した火星(マリネ溪谷)



## 長野県は宇宙県

美しい星空が宇宙の始まりです。

### 観測技術が進歩しても

私達の見る星空は、いつまでも美しく  
夢を子どもたちに伝えていきましょう！

日本人？地球人？  
いえ宇宙人です。



## 「長野県は宇宙県」



国友一貫斎

- (1) 長野県内の研究施設の基礎知識
- (2) 長野県の地質・地理・植生・風土
- (3) 長野県の天文学文化の歴史
- (4) 各地域（各館）の星空の案内法



三澤勝衛



## 諏訪天文同好会 復活の兆し

2019 11/9の長野県天文愛好者連絡会にて、「諏訪天文同好会の活動」について、お話ししました。この時は「諏訪天文同好会」を知っている方はあまり多くありませんでした。その後、八ヶ岳博物館に会員の五味一明さんの資料が国立天文台から移管され、「長野県は宇宙県」メンバーの方々により整理が続けられました。大正時代から続いている日本最古のアマチュア天文同好会として、会員各位が、市民科学の啓蒙に尽力されてきた状況が解ってきました。そこで100周年記念と合わせて、シンポジウムが行われました。テレビや新聞報道に取り上げられ、多くの方々に「諏訪天文同好会」が知られるようになりました。また、100周年の記念行事として、要らなくなった望遠鏡を寄贈していただき、整備して37名の小中学生に配布する事業も行いました。諏訪清陵高校の天文台の赤道儀も観測し易い物に変えました。このような活動に参加された方や、諏訪清陵高校の天文部OBの方からも、入会の申し込みが来るようになりました。世代の老齢化の中で活動の方向性が見えない状況を心配していましたが、このような若い人々と一緒に、同好会の将来への展望を開いていられると思っています。